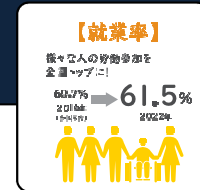




2 産業の生産性が高い県づくり



産業イノベーションの推進

◆「信州ITバレー構想」のプロジェクト重点支援やスマート農林業の普及促進、研究基盤拠点の整備・強化などにより、県内産業の生産性向上を支援

《信州ITバレー構想》

- 信州ITバレー構想の推進 3208万8千円(1674万9千円) ⇒産業労働部3
 - ・先進的なプロジェクトへの重点支援や国内外への情報発信・プロモーションにより、IT人材・IT産業の県内集積を促進
- 中小企業のAI・IoT等先端技術の利活用促進 2785万1千円(3247万3千円) ⇒産業労働部13
 - ・AI・IoT等先端技術利活用支援拠点の専門人材によるマッチング支援等のほか、AI・IoT等先端ツールの導入を支援
- スマート農林業の普及促進 3503万3千円(4526万円) ⇒農政部1、林務部6
 - ・AI・ICTを活用した農業技術の生産現場への実装化や、ドローンによる森林資源分析・管理手法の導入を支援

《研究基盤拠点の整備・強化》

- (新)三次元デジタル生産技術の研究開発支援拠点の整備 11億2449万円 ※令和元年度2月補正(国補正対応分) ⇒産業労働部
 - ・工業技術総合センター(長野市)に、全国の公設試験研究機関で初となる、三次元デジタル生産技術を活用した医療機器等の部品の最適設計や迅速な試作、評価を一貫して支援する研究開発支援拠点を整備
- (新)養豚研究基盤拠点の強化 5億6357万9千円 ※令和元年度2月補正(国補正対応分) ⇒農政部
 - ・動物にストレスを与えない飼養管理技術や高品質なブランド豚肉など新たな技術開発研究を行うため、畜産試験場(塩尻市)に、CSF(豚熱)等に対応した防疫レベルの高い豚舎等を整備

《成長期待分野への展開》

- 医療機器の開発・事業化とグローバル展開への支援 6865万7千円(6265万7千円) ⇒産業労働部4
 - ・国内の新規医療機器の開発・事業化や、世界市場への医療機器部材の供給、医療機器開発の人材育成を支援

《創業支援の強化》

- ベンチャーエコシステムの構築 2292万4千円(1162万4千円) ⇒産業労働部10
- (新)・松本市のICT拠点施設(サザンガク)と連携した創業支援拠点を新設し、新たな価値を創造する創業を支援
 - ・スタートアップ期の事業者への課題解決に向けた伴走支援等を実施し、成長を加速化

「稼ぐ力」と「ブランド力」の向上

◆ 営業本部を中心に、県産品（伝統工芸品、加工食品、農産物、県産材等）の販路開拓・拡大に向けた情報発信・営業活動を実施し、「稼ぐ力」と「ブランド力」を向上

《県産品の情報発信・販路開拓》

(新) 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたプロモーション 4596万円5千円 ⇒観光部2 ※詳細は13ページを参照

《農産物の輸出拡大》

(新) 輸出拡大の加速化及び輸出推進体制の構築 825万円 ⇒農政部4

- ・輸出対象国のニーズに応えられるグローバル産地の形成やタイの輸入規制に対応した衛生管理認証の取得を支援

《県産材活用の加速化》

(新) 非住宅分野への県産材活用の推進 4565万3千円 ⇒林務部9・10・11

- ・県産材製品コーディネーターの新設や、木材加工業者のJASの認証取得、民間事業者等が行う店舗等の木質化を支援

産業人材の育成・確保

◆ 「長野県就業促進・働き方改革戦略会議」での検討を踏まえ、就業促進や働き方改革を推進し、特に若者や外国人材の受入れ・就業を促進

《若者の就業促進》

(新) 社会人を対象としたUIJターンの促進 1928万1千円 ⇒産業労働部18・19

- ・首都圏在住社会人を対象とするUIJターン転職説明会を開催し、長野県での生活を「仕事、暮らし、遊び」トータルで発信
- ・県内企業に対し、魅力発信力の向上などのための研修会を開催し、企業の人材確保を支援
- ・UIJターンした社会人等を長野県の魅力を発信するアンバサダーに任命し、県外の若者向けの情報発信力を強化

《外国人材の受入れ・就業の促進》

(新) 企業向けサポート窓口の新設 933万1千円 ⇒産業労働部22

- ・「外国人材受入れ企業サポートセンター(仮称)」を新設し、外国人の雇用に関する企業の相談に対応

(新) 介護分野への受入れ・就業支援 1088万7千円 ⇒健康福祉部4

- ・ベトナム政府との覚書等を踏まえた技能実習生の訪日前研修や介護事業所が行う外国人留学生への奨学金支給を支援

(新) 農業分野への受入れ・就業支援 50万5千円 ⇒農政部6

- ・JA長野県労働力支援センター等と連携し、特定技能外国人の受入れや他県とのリレー雇用を試行